

みささ

今年も笑顔あふれる
年になりますように——

病院中庭足湯にて、患者さまとともに

病院理念 安全、安心で良質な医療を提供し、常に地域から信頼される病院

Topics

- 平成27年未年新年ご挨拶
- 森尾院長ヘインタビュー
- 秋季リーグ、1部に昇格！他

平成27年 未年 新年ご挨拶

鳥取県中部医師会 会長 松田 隆



平成27年 未年(ひつじどし)の新年ご挨拶を申し上げます。平成25年6月28日から鳥取県中部医師会の会長となり、この紙面での挨拶も2回目となりました。今年は未年で、十二支によれば、未はまだ熟しきらない成長途上の植物を表しているということであり、鳥取県中部医師会立三朝温泉病院の成長進化の過程を象徴する年になるのではないかと思います。今年3月には、訪問看護ステーションが開設され、いよいよ地域に出向いての訪問看護が始まります。一方、4月には、鳥取看護大学も開学し、中部での看護の質の更なる向上が望まれます。大学での研究や研修で最新の知識を学び、病院や地域で患者さんと接しながら実践的な看護を習得できる環境が整い、お互いが連携を深めることにより良質な看護や介護が提供できると確信しております。昨年10月から「病床機能報告制度」がスタートし、それを基に今年4月から「地域医療構想」の策定が始まります。2025年の医療提供体制を見据えた取り組みが本格化するなかで、最適な医療を生み出すような環境を作り出すことで、継続的に医療における質を改善し、高い水準を保つようにするシステムとしての「診療ガバナンス」が求められます。そういう点でも、三朝温泉病院の役割は大変重要であり、看護師のみならず、医師および医療スタッフ、職員の皆様の奮闘に期待し、三朝温泉病院の更なる成長発展の年になる事を祈念いたします。



地域と共に生きる医療 求められる新しい姿とは

三朝温泉病院 院長 森尾 泰夫

森尾 泰夫 もりお やすお

整形外科医。1980年鳥取大学医学部卒業、84年同大学院医学研究科博士課程修了。同医学部附属病院及び国立三朝温泉病院勤務などを経て、92年には米国ハーバード大学へ留学(マサチューセッツ総合病院整形外科リサーチフェロー)。2003年鳥取県中部医師会立三朝温泉病院病院長心得、04年より現職。診察時は患者とのやりとりを大切にしている。趣味は読書。お風呂に浸かりながら読むこともあるほどの本好き。

原点を見つめ直し、地域医療の中心的存在になれるよう努めたいですね。

——新しい年が明けました。三朝温泉病院にとって今年はどんな一年になりそうですか。昨年の実績を踏まえつつ抱負をお聞かせください。

森尾 昨年は、4月に「診療報酬改定」と「消費税アップ」という大きな変動がありました。加えて医師の異動やご開業などが重なり、入院患者数や医業収入は全体的に減少しました。ですが、秋口からは少しずつ上向いており、あまり心配はしていません。

そんな中で改めて大切だと感じるのは、当院の「原点」である「内科」「整形外科」「リハビリテーション」の医療です。我々の専門であるこの分野をいかに充実させていくか。三朝町はもちろん、湯梨浜町、倉吉

市といった県中部に暮らす高齢者の方々を中心に、地域の診療所・介護福祉施設とも密な連携を図りながら、当院の存在意義をしっかりと示せる新年にしていきたいですね。

7月には、日本医療機能評価機構の「病院機能評価」を受審しました。2004年に認定病院となり、今回は3回目の審査です。大きな問題点はなく、10月には無事「合格」の通知を頂きました。スタッフの尽力に感謝しています。

三朝温泉温泉病院の機能は十分に水準を満たしているのか、我々は時々振り返る必要があります。こうして第三者の目を見ていただいた結果を謙虚に受け取り、直すべきところは直し、足りないところはきちんと補っていく。この繰り返しが非常に大事なんですね。今年も真摯に病院づくりに努めていきたいと思っています。

退院後の在宅療養を支える 「訪問看護」がスタートします。

—— 新たな取り組みとして、今年3月に「訪問看護ステーション」が開設されるそうですね。その目的は？

森尾 医療政策上、長期入院が困難な時代となってきました。患者さんは、不安を感じながらも退院を余儀なくされます。そういう患者さんやご家族が安心して自宅療養できるよう支援することを目指しています。まずは当院に入院されていた方を対象に、そして徐々に地域の診療所にかかっておられる患者さんにも広がっていきたいと考えています。

退院してまもなくは病態がまだ安定していませんから、特に夜が不安なんですね。ですから当院の訪問看護は、[※]24時間体制を整えました。休日や夜間で医師に診てもらえないときなどに利用できればきっと心強いはず。それに、診療所の医師の負担も軽減されるんです。

これまでの経験上、訪問看護のニーズはあると確信していますし、これは当院が地域医療に貢献していく上で欠かせない事業となるはずです。

—— 具体的にはこういった看護を提供されるのですか。

森尾 病状の観察、血圧・血糖値等の測定、床ずれのケア、療養・介護方法のアドバイス、ご家族の支援などですね。訪問看護の結果、「診療の必要がある」と判断すれば、すぐにかかりつけ医に依頼。リハビリの必要があればPT(理学療法士)やOT(作業療法士)も出かけていきます。専門スタッフによる「訪問リハビリテーション」ができるのも当院の強みです。



※ 開設時は365日24時間電話の連絡体制とします。

専門研修に出かけたり機材を整えたりと、昨年からは着々と準備を進めてきました。また看護師は、「ぜひ訪問看護をやりたい」と自ら手を挙げた意識の高いメンバーですから、私自身とても期待しています。

「温泉+現代医療」の特性を生かし、 地域の期待に精いっぱい応えたい。

—— 国の施策として「地域包括ケアシステムの構築」が打ち出されています。その中で三朝温泉病院が担う役割とはどのようなものですか。

森尾 「地域包括ケアシステム」は、年を取っても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援を地域の中で一体的に提供していこうというものです。当院はその中で、手術などの急性期治療が終わり、機能の改善を目指す患者さんにリハビリや適切な療養環境を提供していく「回復期医療機関」としての役割が期待されています。現在「地域包括ケア病床」として14床を確保し、回復期リハビリテーション病床60床と合わせ、急性期病院からの患者さんを受け入れています。

—— つまり、地域の病院が特性に応じて役割を分担し、患者さんは病状に適した専門病院で診てもらえる、ということなんですね。

森尾 そうなんです。昔は手術した病院が退院まで患者さんを診ていましたが、今は違います。例えば脳卒中の場合、救急病院で手術を受けたら、病状が安定するまでそちらに入院します。その後リハビリができる状態にまで回復したら当院のような回復期の病院に転院し、日常生活に戻れるよう専門的なリハビリテーションを受ける。退院して自宅療養される場合は訪問看護で引き続きサポートし、慢性期の病院や介護施設に入られる場合はそちらとの連携を図っていくという仕組みになっています。

—— そうした地域医療の中で“三朝温泉病院らしさ”として意識して取り組んでいることはありますか？

森尾 「ラジウム塩化物泉」という特徴ある自家源泉を有していることは、他病院にはない利点です。しかし温泉だけで病気が治るわけではなく、そこに適切な診断や薬、温泉を活用したリハビリといった「現代医療」がプラスされてこそなんですね。だから我々は、常に全国水準の医療を追い求めていく必要がある。この時代に「田舎だからできない」はないと思うんです。スタッフみんなで力を合わせて研鑽を積み、いつかどこかでばーんとブレイクしたいですね(笑)。

健康 美食

MEMO

生姜の効用について

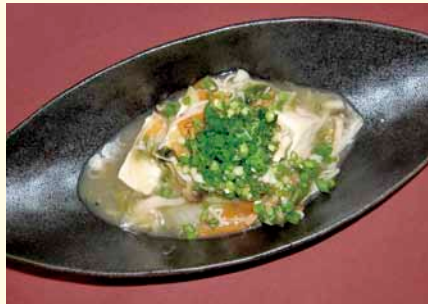
日本では薬味としておなじみのショウガ科の多年草。辛み成分は、ジンゲロン、油性ショウガオールで臭み消しや、強力な殺菌作用を持ち、吐気を抑え、食欲を増進させる働きがあります。発汗、解熱、消炎、保温などの作用があり、一年中利用薬の材料に常備したいものです。



ダイエット中の
あなたに絶品!!

野菜たっぷりあんかけ豆腐

1人分あたり
175kcal



材料(4人分)

豆腐	2丁	しめじ	1/2株
はくさい	2枚	ねぎ	適量
にんじん	1/2本	生姜	1～2片
エノキ	1袋	だし汁	600ml
しいたけ	2本	ごま油	適量
【水溶き片栗粉】		【調味料】	
片栗粉	大さじ2	酒	大さじ3
だし汁	大さじ2	みりん	大さじ2
		醤油	大さじ1
		塩	小さじ1

作り方

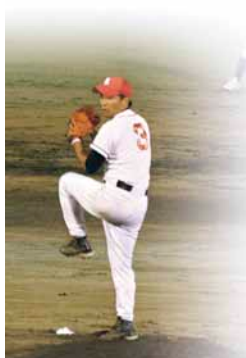
- 1.豆腐はキッチンペーパー又はレンジ加熱で適当に水分を取り食べやすい大きさに切る。
- 2.鍋にだし汁600mlと調味料をすべて加え火にかけ、煮立ったら豆腐を加える。再度煮立て火を止め、豆腐は器に盛り付けておく。
- 3.白菜はざく切り、にんじんは短冊切り、えのき・しめじは石づきを取り適当に分ける。しいたけは石づきを切り落とし薄切りにする。ねぎはみじん切り、生姜は千切りにする。
- 4.2のだし汁を鍋からボウルに移し、空いた鍋を熱しゴマ油を引き野菜を加え炒める。
- 5.野菜がしんなりしてきたら、だし汁を戻し煮立たせ生姜を加えたら火を弱火にして3分程煮詰める。
- 6.鍋に水溶き片栗粉を回し入れ混ぜる。トロトロになったら火からおろし、器に盛り付けた豆腐にかければ出来上がり!!

生姜がきいているので、冷え防止・風邪予防にも!!

秋 季リーグ、1部に昇格！



三朝温泉病院野球部は、「**元気に！笑顔で全員野球！**」をスローガンに総勢26名で活動しています。経験の有無を問わない野球好きの集団です。日々の多忙な業務もあり、全員揃っての練習はできませんが、少人数で集まれる時に和気あいあいとキャッチボールやバッティング練習をしています。今年度の三朝町ナイター春季リーグは2部でのスタートでしたが、6戦全勝優勝し、秋季リーグは1部に昇格しました。1部での優勝を目指して、チーム一丸となって目下奮闘中です。日頃から患者さんをはじめ職員の皆様から多くの声援を頂き感謝しています。



インター春季リーグは2部でのスタートでしたが、6戦全勝優勝し、秋季リーグは1部に昇格しました。1部での優勝を目指して、チーム一丸となって目下奮闘中です。日頃から患者さんをはじめ職員の皆様から多くの声援を頂き感謝しています。

監督 青木 智恵子

3 病棟にて、お月見会を開催！

10月21日、3病棟ディールームにて入院中の患者さまに秋の季節感を味わって頂けるようお月見会を行いました。お月見会では、鳥取県中部地域を中心に演奏活動をされている尺八の村尾邦山先生、また琴の柳川社中の皆さんを招き、みのりの秋、タベのロンドなど尺八と琴の演奏を楽しみました。



今年は、ボランティア導入10周年！

当院のボランティアは、今年の9月で導入から10年目を迎えます。主な活動は、移動図書の貸し出し・管理、献立表の飾り付け、園芸、軽作業などです。いつも病院や患者さまのために活動して下さるボランティアの皆さまに心から感謝申し上げます。



QC全国大会で「優秀賞」受賞！ ～TKA側面再撮影を減らそう！～

第16回 医療の改善活動 全国大会で当院代表放射線科の「マルホーサークル」が見事「優秀賞」を受賞しました。テーマは「TKA側面再撮影を減らそう！」で、診断・治療ケアの質の向上をめざすもののセクションでの発表でした。

■喜びのコメント 発表者 中山放射線技師

今回QC全国大会にて優秀賞を受賞できましたが、サークルメンバー、事務局の方々にご支援いただいたおかげです。また全国大会に参加したことで、当院のQC活動のレベルの高さ、医療改善活動の重要性を改めて感じる事ができました。本当にありがとうございました。



外来診察案内 平成26年10月1日～

受付時間 午前8:30～午前11:00

診療科名		月	火	水	木	金
内科	一診	竹田	佐々木(非常勤)	竹田	松田 荻野(非常勤)(月2回:午後)	塩
	二診	松田	塩	石飛(非常勤)	野口(非常勤)	金藤
	三診	—	金藤	—	竹田(ドック診療)	—
神経内科	一診	—	鳥大医師(隔週午後)※注	—	鳥大医師(隔週午後)※注	瀧川(非常勤)※注
整形外科・リウマチ科	一診	森尾院長	加藤	森尾院長	石井副院長	深田
	二診	石井副院長	深田	加藤	戸田	リウマチ外来
	三診	福嶋(非常勤)	—	福嶋(非常勤)	—	—
リハビリテーション科	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医

外来予約専用TEL 0858-43-2476 [受付 平日12:00～17:00]

※注 神経内科に初診をご希望の方は、事前に神経内科へお問い合わせください。代表番号(0858-43-1321)



学会発表／講演／誌上発表

学会発表

平成26年1月～平成26年6月(同期間内のその他の学会発表はvol.32に掲載)

演 題	学 会 名	年 月 日	開 催 地	演 者
鳥取県感染制御地域支援ネットワークによる業務支援の報告	サーベイランスの実践と活用・フィードバックの方法	5月17日	米子市	岩山恵理子

平成26年7月～平成26年12月

演 題	学 会 名	年 月 日	開 催 地	演 者
フットケアチームアプローチにより足部痛の改善をみた一症例	第21回鳥取県リウマチケア研究会	7月 5日	鳥取市	富澤隆一郎
頸椎MRI SAG T2WIにおけるひと工夫	第13回鳥取県CTテクノロジーフォーラム	7月26日	米子市	中松裕輔
ロボットスーツ HAL により歩行能力の改善をみた一症例	リハビリテーション研究会 in 米子	9月13日	米子市	荒石章夫
当院における患者満足度調査の現状と課題	第11回日本医療マネジメント学会鳥取支部学術集会	9月27日	倉吉市	山根隆治
地域に密着した糖尿病医療を目指して ～チーム医療を生かす～ 糖尿病療養指導委員会の活動	医療マネジメント学会	9月27日	倉吉市	政門玲子
TKA側面の再撮影を減らそう	第11回日本医療マネジメント学会	9月27日	倉吉市	中山英俊、島本勇、山下俊能、 津川大樹、中松裕輔
ステロイド長期服用患者における骨粗鬆症治療薬使用状況調査	日本医療薬学会	9月27日	名古屋市	森内葉子、白井偉一、 大丸英昭、塩孜
後期高齢エプスタイン奇形の例	平成26年度鳥取県医師会秋季医学会	10月19日	倉吉市	竹田晴彦
住み慣れた地域でその人らしい暮らしを共に考える	第48回 中国地区医療社会事業大会	11月 8日	広島市	津嶋智恵
腰椎化膿性椎間関節炎の2例	第47回中国四国整形外科学会	11月 9日	尾道市	戸田直樹
TKA側面の再撮影を減らそう	第16回医療改善活動	11月14日	福井市	中山英俊、島本勇、山下俊能、 津川大樹、中松裕輔
膝MRI 傍骨性骨肉腫疑いの1例	鳥取県東部MRI研究会	11月20日	鳥取市	中山英俊
入院時のアルブミンから予後予測は可能か？	第14回鳥取県理学療法士学会	11月30日	米子市	松本厚一
骨粗鬆症性相対偽関節に対する棘突起プレートの使用経験	第62回山陰整形外科集談会	12月20日	松江市	深田悟

講 演

平成26年7月～平成26年12月

演 題	講 演 会 名	講 演 日	講 演 場 所	講 演 者
リハビリテーション科におけるフットケアの流れ	リウマチ教室	6月27日	三朝温泉病院	富澤隆一郎
「身近な生活習慣病のはなしNo.1 ～糖尿病のメカニズムと予防～」	食生活改善推進員養成講座	7月11日	三朝町総合文化ホール	政門玲子
『あきらめていませんか？運動療法』 ～膝に痛みがあっても出来る運動～	第18回鳥取県糖尿病療養指導者 研修会	7月26日	鳥取県立厚生病院	山口洋司
生活支援技術	平成26年度介護労働者講習会	8月 4日	県立福祉人材センター	山根隆治
転倒予防について ～転ばぬ先の杖～	大昭老人クラブ	8月 5日	三朝町レスポワール	河本友紀 前田つかさ
看護職養成の現状と課題 ～看護職が社会や現場で求められていること～	鳥取県看護専修学校教員研修	8月 5日	湊泉閣	宮本芳江
中部地区 糖尿病連携バスの運用について	藤井政雄記念病院 ヘルスケアセンター勉強会	8月22日	藤井政雄記念病院	政門玲子
三物黄芩湯が原因と考えられた間質性肺炎例	中部地区漢方勉強会	8月27日	倉吉市	竹田晴彦
こけない体づくりをしよう	大原いこいの会	9月11日	大原自治公民館	山根隆治
「知って得する糖尿病のこと」	三朝町賀茂地域協議会 健康づくり学習会	9月11日	助谷公民館	政門玲子
手・足のしびれに対するリハビリテーション	骨と関節の日市民公開講座	10月 5日	倉吉未来中心	圓山浩司
当院の糖尿病教育入院バスの取り組みについて	鳥取県東中部糖尿病セミナー	10月11日	倉吉交流プラザ	亀井由美子
糖尿病の治療に難渋したが改善のきっかけとなった認知行動療法	第1回鳥取県中部医師会 糖尿病研究会	10月17日	中部医師会館	竹田晴彦、政門玲子 亀井由美子
1) 熊本スタディについて 2) 糖尿病の治療に難渋したが改善のきっかけとなった認知行動療法	糖尿病臨床講座	10月17日	中部医師会館	竹田晴彦
認知症予防のための「ながら運動」のススメ	認知症予防教室	10月21日	関金	馬壁知之
転ばないための学習	認知症予防学習会	10月22日	高勢地区公民館	山根隆治
～鳥取 Expert Nrs Meeting ～	心理サポートについての報告会	11月 8日	倉吉シティホテル	野田一枝
職場における腰痛対策	雇用管理責任者研修	11月14日	倉吉未来中心	山根隆治
胃瘻造設後の下痢に対する真武湯の経験	中部地区漢方勉強会	11月19日	倉吉市	竹田晴彦
リハビリテーション介護	平成26年度短期専門コース	11月20日	県立福祉人材センター	山根隆治
ロボットスーツ HAL の紹介と今後について	第14回鳥取県理学療法士学会	11月30日	鳥取大学	荒石章夫
食事療法の基本の指導事例について	糖尿病の基礎講座	12月 2日	中部薬剤師会館	津田淑子

誌上発表

平成26年7月～平成26年12月

掲 載 紙	表 題	著 者
SSK 流れ 鳥取だより13号 2014年8月号	第27回鳥取支部講演「リウマチ看護師の役割について」	野田一枝
鳥取県医師会報 No.708, P39-41, 2014	ロコティブシンドロームに対する多角的取り組み ～温泉のリハビリへの活用、経皮的椎体形成術、ロボットスーツ (HAL)、現代湯治～	森尾 泰夫
Eur Spine J. 2014 Aug 14. [Epub ahead of print]	Comparison between walking test and treadmill test for intermittent claudication associated with lumbar spinal canal stenosis.	Tanishima S, Fukada S, Ishii H, Dokai T, Morio Y, Nagashima H.

病院のご案内

名 称 (公社)鳥取県中部医師会立 三朝温泉病院
住 所 〒682-0197 鳥取県東伯郡三朝町山田690
 TEL: 0858-43-1321 FAX: 0858-43-2732
 E-mail: ishikai@hosp.misasa.tottori.jp
 URL: http://www.hosp.misasa.tottori.jp/
外来受付 午前8:30～午前11:00

開設者 中部医師会 会長 松田 隆
病院長 森尾泰夫
診療科目 整形外科・リウマチ科・内科・神経内科・リハビリテーション科
病床数 178床 一般病棟…83床(内、地域包括ケア病床14床)
 病養病棟…35床
 回復期リハビリテーション病棟…60床